

心理学

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

山田 ゆかり

概要 心理学は、行動を科学的に研究し、人間のこころの働きを解明しようとするものである。この授業では、人間が環境とのかかわりにおいて営んでいる生活行動の全体、すなわち、環境からの刺激を知覚する過程、知覚した情報を処理する過程、それをもとに環境に働きかける過程という一連の過程を視野にいれて、こころの働きについて学ぶ。

達成目標 人間の行動を通して、こころの働きを理解する。また、これによって、自分自身のこころの働きについて洞察し自己理解を深める。

教授計画

第1週	ガイダンス こころをどうとらえるか
第2週	環境を知るはたらき 知覚(1) 知覚の基礎
第3週	環境を知るはたらき 知覚(2) 知覚の体制化
第4週	環境を知るはたらき 知覚(2) 知覚のいろいろな特徴
第5週	行動が獲得され進歩する過程 学習・記憶(1) 学習のプロセス
第6週	行動が獲得され進歩する過程 学習・記憶(2) 記憶のメカニズム
第7週	行動が獲得され進歩する過程 学習・記憶(3) 学習と記憶についての体験
第8週	環境への適応過程 感情(1) 感情の分類、フラストレーション
第9週	環境への適応過程 感情(2) ストレス
第10週	行動の個人差と独自性 パーソナリティ(1) パーソナリティの記述 (類型論、特性論)
第11週	行動の個人差と独自性 パーソナリティ(2) パーソナリティの記述 (力動論) パーソナリティの調べ方 (質問紙法)
第12週	行動の個人差と独自性 パーソナリティ(3) パーソナリティテストを用いた自己理解(質問紙法)
第13週	行動の個人差と独自性 パーソナリティ(4) パーソナリティの調べ方 (作業検査法、投影法) パーソナリティテストを用いた自己理解(投影法)
第14週	こころの健康 適応と不適応(1) パーソナリティの障がい
第15週	こころの健康 適応と不適応(2) こころの病気 15週までの学習のまとめと自己分析

成績評価方法・基準

学期末の筆記試験80%、講義中に実施する課題・レポート20%で評価する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

講義とともに、できるだけ体験的な要素を取り入れ、理解を深める。
授業への継続的な出席と積極的な参加を求める。また配布資料に沿って、講義ノートをしっかり作成すること。

テキスト

二宮克美、山田ゆかり、譲西賢、天野寛、山本ちか、高橋彩 『ベーシック心理学』医歯薬出版 2008 978-4-263-42164-2

参考書など

『講義中に適宜指示または資料を配付する。』

人間関係論

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位

講義

選択

山田 ゆかり

概要 人間関係と自己意識の発達、人間関係の認知と感情、さまざまな対人的行動、集団の心理、人間関係にかかわるストレスと適応など、人間関係に関連する人のこころの働きと行動について解説する。

達成目標 人間関係・対人関係にかかわる人のこころの基本的な働きや行動について理解する。また、自分自身の対人関係のあり方についてふりかえり、より良い人間関係の構築を目指す。

教授計画

第1週	人間関係のもつ意味と重要性
第2週	自己と他者：自己の形成における他者の役割
第3週	人間関係の展開（1） 印象形成
第4週	人間関係の展開（2） 対人認知とその歪み
第5週	人間関係の展開（3） 非言語コミュニケーションの機能
第6週	人間関係の展開（4） 対人魅力の心理
第7週	対人関係の場面における行動（1） 援助
第8週	対人関係の場面における行動（2） 攻撃
第9週	対人関係の場面における行動（3） 説得
第10週	対人関係の場面における行動（4） 競争と協同
第11週	よりよい人間関係のために（1） ストレスと人間関係
第12週	よりよい人間関係のために（2） 対人的態度の自己分析
第13週	よりよい人間関係のために（3） 自己開示、アサーション
第14週	集団のなかの人間関係（1） 集団の心理
第15週	集団のなかの人間関係（2） 社会的影響 流行

成績評価方法・基準

学期末に実施する筆記試験で評価する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

できるだけ体験的な要素をとり入れた講義を行う。講義およびプリントの内容をよく理解し、疑問な点があれば必ず確認すること。また、学修サポートシートも必ず参照すること。

テキスト

『使用しない。各回の講義内容に準拠したプリントを配布する。』

参考書など

二宮克美 『ベーシック心理学』 医歯薬出版 2008 978-5-263-42164-2

現代日本史

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

小林 あづみ

概要 私たちにとって身近な存在である茶の歴史と文化を扱う。とくに茶が貴重であった時代における私たちにとっての意義や影響について学ぶことによって、現代の文化を問い直すきっかけとする。

達成目標 日本の歴史において茶がどのように受容されたかを理解する。

教授計画

第1週	講義内容の説明、受講上の留意点
第2週	茶のルーツ
第3週	茶の日本への伝来
第4週	葉としての茶の称揚
第5週	飲茶のゲーム化
第6週	飲茶の広がり（禅院における受容）
第7週	飲茶の広がり（パサラ大名たちの受容）
第8週	飲茶の広がり（その他）
第9週	茶の湯の成立（村田珠光）
第10週	茶の湯の成立（武野紹鷗）
第11週	茶の湯の成立（千利休）
第12週	茶の湯の展開（古田織部）
第13週	茶の湯の展開（小堀遠州）
第14週	茶の湯の展開（その他）
第15週	まとめ

成績評価方法・基準

レポート、受講態度など

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

歴史史料（漢文）を利用した講義内容であるため、通常の講義よりも読解への意欲と努力が要求される。

テキスト

『なし』

参考書など

谷 晃 『茶人たちの日本文化史』 講談社 2007 4061498789

日本語力

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

1単位 講義

必修

落合 洋文

概要 本講義では、日本語を自由自在に使いこなすための基礎的な技術を学びます。美術で石膏デッサンをするように、文章で対象をリアルに表現する方法や、わかりやすく好感をもたれる話し方などのほか、新聞の読み方、メールや手紙の書き方など、日々の学習や就活に役立つ実践的な内容も学びます。健康栄養学科は毎時間、授業の前半で数的処理を、後半で日本語力を学びます。

達成目標 言葉で物事を説明するためには、対象をよく観察し、主張すべきポイントを明らかにし、それらを論理的につなぎ合わせて筋の通った話をつくり、的確な言葉を選んで表現する必要があります。文章の場合は書いたものを客観的に見直し、推敲することも重要です。文章を読むときは作者がどのようにして～を行ったか、作者の立場に立って想像してみるとよいでしょう。

教授計画

第1週	チェックシートによる学力診断
第2週	文章デッサン 絵に描かれた情景を言葉で説明する
第3週	文章デッサン 腕時計などモノを言葉で説明する
第4週	文章デッサン 天気予報をわかりやすく説明する
第5週	悪文を正す；推敲の練習 短文の推敲
第6週	悪文を正す；推敲の練習 長文の推敲
第7週	アナウンサーに学ぶ上手な話し方1
第8週	上手な敬語の使い方
第9週	文書の編集 新聞記事の要約
第10週	文書の編集 論説記事の要約を書いてタイトルをつける
第11週	メールの書き方 先生にレポートの提出期限を問い合わせる
第12週	メールの書き方 講師に講演を依頼する
第13週	書評・映画評の読み方と書き方
第14週	SPI問題の総復習
第15週	チェックテスト

成績評価方法・基準

学年のはじめに努力目標を設定し、学年末にチェックシートを用いて達成度を評価します。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

毎回、文章の書き方などを説明した後、1人またはグループで課題に取り組みます。書いた文章は、その場で添削します。グループワークでは積極的に作業に参加すること。

テキスト

『毎回、資料を配布します。』

参考書など

『適宜指示します。』

日本語力

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

1単位 講義

必修

落合 洋文

概要 本講義では日本語を正しく使って考え、表現する技術を学びます。特に前半はクリティカルシンキングの技法を学び、論理的に考えるとはどういうことであるかを理解します。なお健康栄養学科の日本語力「数的処理」と隔週で実施します。

達成目標 クリティカルシンキングの方法を理解し、論理的に考えられるようになること。また考えた事柄を正しい日本語で表現できるようになること。

教授計画

第1週	この週は数的処理の授業を行います。
第2週	クリティカルシンキングで考える 新聞記事から犯人を推理する
第3週	この週は数的処理の授業を行います。
第4週	クリティカルシンキングで考える 誤った地震予知をめぐる裁判
第5週	この週は数的処理の授業を行います。
第6週	クリティカルシンキングで考える 食品ロスをどう考えるか
第7週	この週は数的処理の授業を行います。
第8週	クリティカルシンキングで考える 食品の産地を示す「地理的表示」の是非を考える
第9週	この週は数的処理の授業を行います。
第10週	アナウンサーに学ぶ上手な話し方2
第11週	この週は数的処理の授業を行います。
第12週	手紙の書き方：手紙の形式と言葉づかい
第13週	この週は数的処理の授業を行います。
第14週	「牡蠣フライ理論」を応用して自己紹介文を書く
第15週	チェックテスト

成績評価方法・基準

学年末にチェックシートを用いて達成度を評価します。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

毎回、文章の書き方などを説明した後、1人またはグループで課題に取り組みます。グループワークでは積極的に作業に参加すること。

テキスト

『毎回、資料を配布します。』

参考書など

『適宜指示します。』

海外事情

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位

講義

選択

松田 康子

概要 日本と違う外国の文化や歴史を知ること、異文化を理解し、その上で外国の文化と接した時にどのように対処するかを知る。特に英語圏であるイギリスとアメリカの歴史と文化の違いやその背景を考察する。国際交流が進む社会で生きるために日本との違いを理解して行動できるようになることを目指す。

達成目標 日本と違う文化を知り、それを理解する力を養う。異文化を理解して、国際交流が進む多文化社会で生じる誤解などを回避する姿勢を示すことができるようにする。

教授計画

第1週	授業の進め方 異文化についてどのように感じているのか現状を知る
第2週	異文化理解の意義 日本人や外国人に持つ固定概念やステレオタイプの意味
第3週	カルチャーショックと異文化への適応
第4週	古代イギリスの文化的特質
第5週	ローマによるイギリス占領とそれに伴うキリスト教の流入
第6週	アングロ・サクソン族の侵入 中世のイギリス社会の特徴
第7週	テューダー朝の絶対主義と宗教改革 シェークスピアについて
第8週	北アメリカ大陸での植民地形成の背景
第9週	アメリカの独立 合衆国の成立
第10週	西部への発展と今日的なアメリカの形成 アメリカの領土拡大の背景
第11週	南北戦争の意味
第12週	アメリカの産業発展とグローバリズムの進展
第13週	世界3大宗教
第14週	代表的な神話の比較
第15週	多文化共生社会に参加することを想定して、自分でできることを考える

成績評価方法・基準

試験結果と授業中のプリント作成の成果

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

毎時間配布するプリントに従って授業を進めるので、授業を聞くだけでなく、自分の意見をもって積極的に質疑応答をして講義に参加する。

テキスト

『なし』

参考書など

八代京子・荒木晶子 等 『異文化コミュニケーションワークブック』三修社 2011 978-4-384-01851-6、 『その他、授業中に適宜指示する』

法学

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

山本 和子

概要 法とは何か。社会における様々な問題を解決するための判断基準・ツールであることを理解し、その判断のための法常識（リーガルマインド）を養う。最も身近かな法である家族法、契約法さらには刑法の実例をもとに、どのように判断されているのかを説明する。

達成目標 具体的な紛争について考えることによって、なぜ法律がそのように整備されているかの理由を理解しできるようにする。中には改正すべきと思われる法律もあることを知り、法律は万能ではないこと、自分の意識を確認することを目標とする。

教授計画

第1週	自分は何者なのかについて、法律はどのように規定しているのか？あなたは何国人と言えるか？
第2週	国籍についての規定。国籍のない人や外国人は日本に在住できるのか？。
第3週	出生と死亡に関する問題。人工授精、代理母、安楽死、尊厳死、臓器移植などどこまで認められる？
第4週	家族に関する法律の改正案について。女子の婚姻適齢引き上げ 夫婦別姓、再婚禁止期間の短縮、非嫡出子の相続分などはどう変わる？
第5週	無能力者制度について。未成年者や認知症の高齢者は誰が守る？
第6週	契約の基礎知識 (1) 意思表示について。思い間違いは誰の責任に？
第7週	契約の基礎知識 (2) 売買契約の売主と買主の権利義務。傷のあるものを買った時は？
第8週	契約の基礎知識 (3) 不法行為とは何か。原因から結果が生じたら責任がある？
第9週	契約の基礎知識 (4) 証明責任の転換 欠陥品であることを証明するのか？
第10週	刑法の基礎 (1) 刑罰は誰が下すのか。その種類と方法。
第11週	刑法の基礎 (2) 刑法に規定する犯罪について。知らなかったら罪にならないか？
第12週	刑法の基礎 (3) 故意と過失、未遂と既遂はどう違う？
第13週	刑法の基礎 (4) 量刑はどう決める？ 自首とか情状酌量とは何？
第14週	刑法の基礎 (5) 再審制度について。冤罪とは？
第15週	刑法の基礎 (6) 裁判員裁判の対象となるのはどのような事件か？

成績評価方法・基準

毎回講義の最後に提出されるその講義のポイントについての質問に対しコメントを求める。評価はこれらのコメントおよび試験期間のテストあるいはレポートの総合評価とする。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

コメントは欠席した場合、次回に提出すること。規定枚数提出されないと評価の対象としないことがあるので注意。コメントの内容は自分自身の意見を書くこと。

テキスト

『使用しない。毎回プリントとを配布する。』

参考書など

『講義中に随時紹介する。』

日本国憲法

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位

講義

選択

山本 和子

概要

日本の統治機構の基礎を学び、立法・司法・行政が相互に抑制しあっていることを把握できるようにする。最近の最高裁の判決の事案について解説する。さらに2009年度より開始された裁判員制度の目的、内容、問題点を論じる。後半は人権について学び、現在の日本で人権問題として大きく取り上げられ、これも最高裁判決の出た事柄を中心に、その原因および考え方について考察する。

達成目標

憲法の基本的枠組みを理解した上で、憲法上の論点とされている事柄について自分なりの意見が言えるようになる。憲法問題は特殊な問題ではなく日本人が常識的に判断できるものであることを理解できるようにする。

教授計画

第1週	日本国憲法の成り立ち。日本人とは。国籍法について。
第2週	天皇制について。皇位承継問題とは何か。
第3週	日本の統治機構 (1) 国会および二議院制 各議院の選挙制度について。 両議院における一票の格差とは。
第4週	日本の統治機構 (2) 内閣の組織 内閣総理大臣の権限について。
第5週	日本の統治機構 (3) 司法の仕組みおよび 三権の相互抑制について。
第6週	憲法第9条の問題点 憲法改正 論議と改正のための国民投票について。
第7週	裁判員裁判とは。その意義と成果 裁判員制度のDVD鑑賞
第8週	人権とは何か。その歴史的意義。
第9週	基本的人権 (1) 法の下での平等 - 非嫡出子の権利、性転換者の権利について。
第10週	基本的人権 (2) 信教の自由
第11週	基本的人権 (3) 表現の自由 ヘイトスピーチについて。 知る権利と秘密情報について。
第12週	基本的人権 (4) 勤労の権利および義務 労働法の基礎について。
第13週	基本的人権 (5) 財産権
第14週	基本的人権 (6) 法定手続の保障
第15週	地方自治における住民投票権について。

成績評価方法・基準

毎回講義の最後に提出されるその講義のポイントについての質問に対しコメントを求める。評価はこれらのコメントおよび試験期間のテストあるいはレポートの総合評価とする。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

コメントは欠席した場合、次回に提出すること。規定枚数提出されないと評価の対象としないことがあるので注意。コメントの内容は自分自身の意見を書くこと。

テキスト

樋口陽一・大須賀明編『日本国憲法資料集第4版』三省堂

参考書など

『講義中随時紹介する。』

経済学

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

須藤 裕之

概要 「経済学」入門講座という性格持つ本講義の目的は、近い将来、会社や家庭など実社会で生活していく上で必要な「経済学」の基礎知識を身につける事にある。より具体的には、「物の価格はどのようにして決まるのか」「景気はなぜ変動するのか」といった我々が日常生活でよく何気なく疑問に思ったり、考えたりしている経済現象や問題について基本的な理解を身につけることである。

達成目標 「経済学」的な物の考え方や「経済行為の意味」など概念的な理解はもちろん、「市場メカニズム」や「国民所得」などの経済現象にかかわる基礎理解を通して、最終的には我々の生活をより豊かにしていく上で「経済学」がいかに有用な学問であるかを理解してもらう。

教授計画

第1週	= ガイダンス = 講義の目的、講義の進め方、受講上の注意、成績評価などについて
第2週	= 「経済学」という学問 = 「経済学」とは、どのような学問か?、「経済学」はなぜ必要か?
第3週	= 社会の経済学的表現 = 家計・企業・政府の役割と様々な市場（経済主体と経済循環）
第4週	= 価格の決定 = 市場機構（価格メカニズム）
第5週	= 需要・供給量の変動と価格の変化 = 需要・供給曲線のシフト
第6週	= 価格の変化と需要・供給量の変化 = 価格弾力性
第7週	= 市場の失敗と政府介入 = 市場構造、外部経済効果、公共政策
第8週	= 独占と寡占 = 独占・寡占市場の特徴と問題点
第9週	= 国富と国民所得（1） = フロー、ストック概念と日本の国富形成
第10週	= 国富と国民所得（2） = G N Pと国民所得の諸概念
第11週	= 国富と国民所得（3） = 三面等価の原則
第12週	= 国富と国民所得（4） = G N P指標の限界と真の豊かさ
第13週	= 経済成長とその安定（1） = 経済成長と景気変動
第14週	= 経済成長とその安定（2） = 経済政策の効果とその限界
第15週	= まとめと総括 = レポート返却と講評、これまでの講義のまとめと復習

成績評価方法・基準

1. 平常点（出席・ミニ課題提出状況）
2. 中間レポート提出状況（詳細は講義中に指示する）
3. 定期試験の結果

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

1. 特定の教科書は指定しないが、毎回配布する「講義プリント」と資料に基づき講義を行なう。
2. 補完的資料も随時、提示していく。
3. 中間レポートと各回講義終了時のミニ課題を課す。

テキスト

『なし』

参考書など

『学修サポートシートに記載』

経営学

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

選択

吉田 洋

概要 経営学を初めて学ぶ人のための入門レベルの講義を行う。本講義には、経営理論、経営戦略、経営管理が網羅されている。そしてこれらの領域をヒト、モノ、カネの経営の3要素のマネジメント活動に基づいて掘り下げ、企業経営の仕組みや成り立ちを理解していく。企業の具体的ケースなども紹介しながら、理論との関連性なども踏まえて学ぶ。

達成目標 企業経営に関心をもつこと。ヒト、モノ、カネ、情報といった経営要素のマネジメントのあり方を理解すること。

教授計画

第1週	ガイダンス 経営の3要素、経営とは何か
第2週	経営学の基本概念、企業生存 3P革命
第3週	株式会社の仕組みと特徴、コーポレート・ガバナンス 経営者と株主の関係
第4週	企業の組織構造 フラット組織 マトリックス組織
第5週	マネジメント理論の系譜
第6週	マネジメント人間観 欲求段階説、XY理論
第7週	賃金制度 年功的賃金 成果主義賃金
第8週	生産システム
第9週	トヨタ生産管理方式
第10週	企業会計の役割 貸借対照表 損益計算書 経営分析
第11週	企業の資金調達 有価証券報告書
第12週	損益分岐点分析
第13週	情報管理 個人情報保護、企業経営におけるITの役割
第14週	社会における企業の役割 CSRと企業の対応
第15週	起業の方法 創業計画書を考える

成績評価方法・基準

定期試験の成績(80点)に、小テストの成績、提出物など平常点(20点)を加味して評価する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

キーワードを事前に示すのあらかじめ調べてくること。
通常の講義形式 企業経営に関する時事問題についても解説を行う。

テキスト

『なし』

参考書など

加護野忠男『1からの経営学』碩学舎 2012 978-4502696107

社会学

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

井上 治子

概要 人は大人になっていくに従って、いやでも社会の現実に直面する。その時、社会のあまりの大きさや複雑さに圧倒されるような気持ちになることもあると思う。そのような時、もし社会の中にある「法則」がわかっていたら、少しは生きやすくなるかもしれない。社会学とは、社会の現実に法則性を見出そうとする学問である。ほろ苦い大人の学問を楽しもう。

達成目標 様々な社会現象について、常識とは異なる「社会学理論」の視点から見るができるようになることを目指す。また、社会学理論の理解に必要な知識や事例として時事問題を取り上げ、それらを通じて、歴史的・地理的知識を補うことも併せて目指す。

教授計画

第1週	講義のオリエンテーション：近代科学と社会学について
第2週	行為論1：行為の四類型、欲求五階層説。人間の「行為」をどう分析できるか？
第3週	行為論2：準拠集団論、対自欲求。私たちの満足や不満はどこからくるのか？
第4週	行為論3：社会化、社会規範。私たちの価値観はどう作られたのか？
第5週	相互行為論1：印象操作。役割距離。「本当の私」はどこにいるのか？
第6週	相互行為論2：象徴的相互作用、ラベリング。誰かと自分との影響の与えあい方について。
第7週	集団論1：集団の分類、個人と集団。集団は私にどう役立っているか？私は集団にどう役立つか？
第8週	集団論2：内集団と外集団、スケープゴート。集団がまとまるのはどのような時か？
第9週	集団論3：集団の非寛容、官僚制組織。集団や組織に共通してみられる傾向とは。
第10週	社会の構造と機能1：「構造」と「機能」、機能の分類。社会を分析するための二つの概念。
第11週	社会の構造と機能2：機能分化とシステム。社会集団を維持するための条件とは。
第12週	社会の構造と機能3：競争・闘争・暴力。闘争として見た社会関係。
第13週	社会の構造と機能4：権力と権威。権力と権威はどう違うか？
第14週	社会の構造と機能5：階級・身分・階層。階級闘争の消滅と「格差社会」
第15週	全体のまとめ

成績評価方法・基準

基本的には、定期試験（テキスト・ノート持ち込み可）の成績により評価する。講義中に、受講生諸君に質問することがある。良い解答には「ポイント」がつき、定期試験の点数に加算する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

講義形式。高校までの社会系科目とは異なり、「暗記物」ではない。考えて理解しようと努めていただく必要がある。

テキスト

森下伸也 著『社会学がわかる辞典』日本実業出版社

参考書など

『講義中に随時紹介する。』

社会学

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

中村 麻理

概要 私たちは毎日、あたりまえの日常を生活している。あたりまえのものをあたりまえとは考えず、距離をおいて捉えるのが、社会的なもの見方である。本講義では、食生活ということ、働くということ、恋愛ということといったありふれた日常に焦点をあてることで、「なぜ私たちは、今そうしているように行動するのか」について、改めて考える。

達成目標 ビジネスの現場からは、受身に終わらない、問題解決能力のある学生に需要がある。そこで、本講義においては現代社会に対する理解を深めると同時に、自分たちの生活を題材にして考えるという経験を通し、「自ら学び、自ら考える」という、社会人に必要な基礎能力を身につけてもらうことを目指す。

教授計画

第1週	社会学ってなんだろう
第2週	日常生活と社会学
第3週	社会学の成立と創始者たち
第4週	食卓の変遷と家族(1) もっとも身近なもの家族
第5週	食卓の変遷と家族(2) 食事風景の変化
第6週	食卓の変遷と家族(3) 映像を題材として
第7週	食卓の変遷と家族(4) 変化する家族
第8週	食生活ということ(1) 食と社会
第9週	食生活ということ(2) 食と文化
第10週	食生活ということ(3) グローバル化と食
第11週	恋愛と結婚(1) 恋愛ドラマを事例として
第12週	恋愛と結婚(2) 恋愛するのはあたりまえか
第13週	働くということ(1) 学校から職場へ
第14週	働くということ(2) キャリアデザインについて考える
第15週	まとめ

成績評価方法・基準

定期試験(50%)、授業時の課題および参加態度(50%)から評価する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

自分たちの問題について考える授業であるので、積極的な態度で授業に参加していただきたい。尚、受講生の問題関心や授業の進捗状況等により、上記の教授計画は変更されることがある。

テキスト

『なし』

参考書など

『授業中に適宜指示する。』

数的処理

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

1単位 講義

必修

落合 洋文

概要 本講義では数字の意味を直感的に理解する力を養います。なお健康栄養学科の数的処理 は毎回、前半が数的処理、後半が日本語力 になります。

達成目標 本講義では、主に概数の扱い方（おおよそどれくらい？）や統計数字の考え方（どんな傾向があるか？）を学びます。各回のテーマに取り組むことで、数字に興味がわき（数的興味）、数字を使って物事を合理的に考え（数的論理力）、いろいろな単位の意味が理解でき（数的概念把握）、数字を使って想像力を働かせることができるようになる（数的イマジネーション）のが目標です。

教授計画

第1週	チェックシートによる学力診断；自分の得意分野と苦手分野を把握し、1年間の努力目標を立てます。
第2週	ヒストグラム
第3週	データの中心を測る指標（いろいろな平均）
第4週	算術平均の応用（塩素の原子量）
第5週	加重平均の応用
第6週	データの散らばりを測る指標1（箱ひげ図）
第7週	この週は日本語力（アナウンサーに学ぶ上手な話し方1）を行います。
第8週	データの散らばりを測る指標2（標準偏差）
第9週	偏差値
第10週	おにぎり1個分の米粒（平均と標準偏差の応用）
第11週	生理学の数理（単位換算）
第12週	化学反応と量的関係（%濃度など）
第13週	指数の意味
第14週	対数の意味
第15週	チェックテスト；半年間の成果を確認します。

成績評価方法・基準

学年のはじめに各自で努力目標を設定し、学年末にチェックシートを用いて達成度を自分自身で評価します。その後、担当教員と面談の上、最終的な評価を確定します。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

勉強がわからなくなる最大の原因は、用語の定義や式の意味が理解できないことです。わからない言葉や式が出てきたら、すぐに先生に質問するか、自分で調べるようにしましょう。

テキスト

『毎回、資料を配布します。』

参考書など

『適宜指示します。』

数的処理

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

1単位 講義

必修

落合 洋文

概要 本講義では数字の意味を直感的に理解する力を養います。なお健康栄養学科の数的処理 は日本語力 と隔週で実施します。

達成目標 本講義では限られたトピックスを通して統計の考え方を学びます。特に標本調査、母平均の推定、母比率の推定の考え方と計算方法を具体例を通して学び、公式を使えるようにすること、出てきた結果の意味を正しく理解できるようにすることが目標です。

教授計画

第1週	平均と標準偏差（復習）
第2週	この週は日本語力 の授業を行います。
第3週	偏差値（復習）
第4週	この週は日本語力 の授業を行います。
第5週	標本調査と区間推定 1： 標本と母集団、正規分布
第6週	この週は日本語力 の授業を行います。
第7週	標本調査と区間推定 2： $n > 30$ の場合の母平均の推定
第8週	この週は日本語力 の授業を行います。
第9週	標本調査と区間推定 3： $n < 30$ の場合の母平均の推定
第10週	この週は日本語力 の授業を行います。
第11週	標本調査と区間推定 4： 二項分布
第12週	この週は日本語力 の授業を行います。
第13週	標本調査と区間推定 5： 母比率の推定
第14週	この週は日本語力 の授業を行います。
第15週	チェックテスト；1年間の学習成果を確認します。

成績評価方法・基準

学年のはじめに各自で努力目標を設定し、学年末にチェックシートを用いて達成度を自分自身で評価します。その後、担当教員と面談の上、最終的な評価を確定します。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

毎回、グループで簡単な実験や作業を行うので、まわりの人と協力して、積極的に授業に参加してください。勉強がわからなくなる最大の原因は、用語の定義や式の意味が理解できないことです。わからない言葉や式が出てきたら、すぐに先生に質問するか、自分で調べるようにしましょう。

テキスト

『毎回、資料を配布します。』

参考書など

『適宜指示します。』

自然科学 (生物学)

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

必修

佐藤 浩

概要 生命の単位になっている細胞の構造・働きと、細胞が分裂によって生命を連続していくしくみを理解し、説明できるようにする。

達成目標 (1)高等学校の化学、生物の復習もかねて、管理栄養士課程で学ぶ生命科学に関連した講義の理解を深めるための基礎知識を学ぶ。(2)管理栄養士国家試験の問題を理解するための生物学の基礎知識を学ぶ。

教授計画

第1週	はじめに、3章 細胞の構造と働き： 原核細胞と真核細胞、動物の細胞
第2週	3章 細胞の構造と働き： 細胞の構造
第3週	3章 細胞の構造と働き： 細胞膜の構造と機能、細胞同士の結合、物質輸送
第4週	3章 細胞の構造と働き： 細胞の増殖と分化： 染色体、体細胞分裂、減数分裂素
第5週	第4章 代謝しくみ： 三大栄養素の消化
第6週	第4章 代謝しくみ： 生体内のエネルギーの運び屋、代謝の主役：酵素
第7週	第4章 代謝しくみ： グルコースからエネルギーを取り出す，脂肪酸からエネルギーを取り出す
第8週	第4章 代謝しくみ 生体内のエネルギーの運び屋、代謝の主役：酵素
第9週	第4章 代謝しくみ 血糖値を維持するしくみ
第10週	第5章 遺伝のしくみ：遺伝の法則
第11週	第5章 遺伝のしくみ：遺伝情報を伝えるもの
第12週	第5章 遺伝のしくみ：遺伝子の複製と形質発現
第13週	第6章 ヒトの発生のしくみ： 精子と卵子
第14週	第6章 ヒトの発生のしくみ： 胚の発生過程
第15週	第6章 ヒトの発生のしくみ： 発生のしくみ

成績評価方法・基準

講義内容に関するミニテストと期末テストで評価する

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

教室の座席は名簿順に指定する。前回の講義のミニテストを出欠とする。

テキスト

川崎、古庄ほか『生物学』建帛社 ISBN 978-4-7679-4634-4

参考書など

アルパート他『Essential細胞生物学』南江堂 ISBN 978-4-524-26214-4

自然科学 (化学)

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

必修

落合 洋文

概要 食品学や栄養学や生化学を学ぶために必要な有機化学の基礎を学びます。本講義は1年前期で学ぶ基礎化学および基礎理化学実験の知識を前提にしており、教科書も基礎化学で用いたものを使用します。

達成目標 アミノ酸とタンパク質、グルコースやショ糖、でんぷんなどの炭水化物、脂肪酸と脂質など、食物に含まれる有機化合物の分子構造と化学的性質について理解すること。

教授計画

第1週	有機化合物の構造と命名法
第2週	水と油はどこが違う？(電気陰性度と水素結合)
第3週	アルコール
第4週	カルボン酸とエステル
第5週	油脂とケン化
第6週	脂肪酸、脂質と生体膜
第7週	アミノ酸と光学異性体
第8週	タンパク質の構造
第9週	タンパク質の機能
第10週	核酸と遺伝子(DNA、RNAの化学と遺伝暗号)
第11週	ATPと高エネルギーリン酸結合
第12週	グルコースとエネルギー
第13週	ショ糖、乳糖、麦芽糖
第14週	デンプンとセルロース
第15週	医薬品の化学

成績評価方法・基準

定期試験の結果をもとにして評価します。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

毎回、授業の前半は講義、後半は演習形式で授業を進めます。必ず自分で問題を解いて、理解度を確認してください。不明な点は遠慮せずに質問してください。

テキスト

吉田真美・永田忠博『管理栄養士の基礎化学』アイ・ケイコーポレーション 2013 978-4-87492-310-8 C3043

参考書など

熊谷仁・熊谷日登美・大熊恵美子『栄養学・食品学を学ぶ人のための初歩の有機化学』アイ・ケイコーポレーション 2012年 978-4-87492-250-7

基礎理化学実験

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

1単位 実験 必修

落合 洋文

概要 基礎化学で学ぶ基本的な化学概念を実際に実験を行って確認する。また基本的な実験操作に習熟するとともに、データ処理やレポート作成の具体的方法を学ぶ。生化学や栄養学を学ぶ上で必須の知識と技能を学ぶ。

達成目標 有効数字の考え方を理解する。molの概念や濃度の計算に習熟する。酸塩基、酸化還元など化学の基本的な概念を感覚として理解する。実験器具の扱い方や基本的な実験操作に慣れる。データ処理の方法を理解する。実験レポートの書き方を理解する。

教授計画

第1週	有効数字の意味、実験器具の扱い方、溶液の調製法について。
第2週	溶液の濃度と性質 過冷却と凝固(いろいろな濃度の食塩水の冷却曲線を求める)
第3週	凝固点降下法による分子量推定;冷却曲線から未知物質の分子量を推定する。 レポート作成法1(ひな形を参考にして実験方法と実験結果をまとめる)
第4週	化学反応と熱 (溶解熱と中和熱)
第5週	化学反応と熱 (ヘスの法則を実験的に確認する) レポート作成法2(実験結果を整理し、その結果の妥当性について考察する)
第6週	酸・塩基とpH
第7週	酸塩基中和滴定;シュウ酸標準溶液を水酸化ナトリウム水溶液で滴定して滴定曲線を作成
第8週	酸塩基中和滴定の応用;食酢中の酢酸を定量する レポート作成法3(自分で実験レポートを作成する)
第9週	クロマトグラフィーによる化合物の分離;いろいろな有機物を薄層クロマトグラフィーで分離・同定する
第10週	安息香酸エチルの合成 レポート作成法4(合成実験の手順をわかりやすくまとめる)
第11週	酢酸フェニルの加水分解
第12週	溶液の濃度と性質 浸透圧と蒸気圧の存在を実感する レポート作成法5(実験の目的と方法をわかりやすく説明する)
第13週	酸化還元滴定 (市販オキシドール中の過酸化水素の定量)
第14週	酸化還元滴定 (濃度未知の過酸化水素水をヨードメトリー法で定量する) レポート作成法6(第13週の実験と比較してメリット・デメリットを検討する)
第15週	第12週の実験結果を確認する

成績評価方法・基準

実験態度 レポートにおけるデータ処理の的確さ レポートにおける考察の的確さ、などによる。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

実験内容をよく理解して実験に臨むこと。白衣・保護眼鏡等を着用すること。実験器具・試薬の取り扱いにおいて、安全面に十分注意すること。グループ実験においても他人任せにせず役割を決めて積極的に実験に参加すること。実験態度が悪く、他の学生に迷惑がかかると判断された場合は退室を命ずる。

テキスト

『実験のプロトコールは配布する。』

参考書など

倉沢新一 著『栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド』化学同人、化学同人編集部編『新版 実験を安全に行うために』化学同人

生物特論

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

選択

佐藤 浩

概 要 人体の構造と機能の基本について学ぶ。

達成目標 管理栄養士国家試験問題に対応するため、解剖学、生理学、生化学、栄養学の基礎となる生物学を学ぶ。

教授計画

第1週	ヒトの体の構造
第2週	食物から体をつくる
第3週	体を構成する器官
第4週	体液とその働き
第5週	免疫系 - 生体の防御
第6週	内分泌と神経系
第7週	細胞の構造
第8週	細胞膜と物質輸送
第9週	三大栄養素の消化
第10週	生体内のエネルギーの運び屋
第11週	代謝の主役、酵素
第12週	グルコースからエネルギーを取り出す
第13週	脂肪酸からエネルギーを取り出す
第14週	血糖値を維持するしくみ
第15週	遺伝情報を伝えるもの

成績評価方法・基準

復習ミニテストと期末テストを行う

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

授業内容に関連した国家試験問題を演習として行う。

テキスト

河崎・古庄編『生物学』建帛社 987-4-7679-4634-4

参考書など

統計学

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

選択

後藤 千穂

概要

管理栄養士にとって、論文や書籍、インターネット等で入手する各種の健康データを正しく理解する能力は必須である。そのためには、統計学を含む科学的な研究アプローチ方法を理解しておくことが重要である。本講義では、管理栄養士の実務に役立つ統計学の基礎知識と方法を学ぶ。

達成目標

1. 健康問題の集団的解析に必要な統計基礎知識の習得
2. 健康に関する科学的エビデンスの見方・解釈能力の習得

教授計画

第1週	オリエンテーション 管理栄養士と統計学のかかわり 統計学の基礎(1) データの種類と収集
第2週	統計学の基礎(2) サンプルと母集団、仮説とは、検定の考え方、度数分布
第3週	統計学の基礎(3) 基本統計量
第4週	統計学の基礎(4) データと種々のグラフ
第5週	散布図、相関係数によるデータのまとめ方
第6週	回帰直線によるデータのまとめ方
第7週	クロス集計表によるデータのまとめ方(1) オッズとオッズ比
第8週	確率分布とその数表
第9週	区間推定によるデータのまとめ方
第10週	仮説の検定によるデータのまとめ方(1) 対応のある2群の母平均の差の検定
第11週	仮説の検定によるデータのまとめ方(2) 2群の母平均の差の検定
第12週	クロス集計表によるデータのまとめ方(2) 独立性の検定
第13週	重回帰分析によるデータのまとめ方
第14週	時系列データのまとめ方と予測
第15週	総合まとめ

成績評価方法・基準

レポートならびに参加態度により、総合評価する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

パソコンを用いた演習を主として授業をすすめる。実際の管理栄養士業務で必要となる統計手法を中心に学ぶので、興味をもって参加すること。

テキスト

石村貞夫他『よくわかる統計学 介護福祉・栄養管理データ編 第2版』東京図書 2013 978-4-489-02165-7

参考書など

『授業中に適宜指示する。』

プラクティカル・イングリッシュ (Advanced)

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

必修

ジェームズ・ランドラー

概要 DOING GRAMMAR-BASED CONVERSATION EXERCISES

達成目標 IMPROVE SPEAKING FLUENCY

教授計画

第1週	CH. 1 SIMPLE PRESENT TENSE etc.
第2週	CH. 1 SIMPLE PRESENT TENSE etc. (cont.)
第3週	CH. 2 SMPLE PAST TENSE etc.
第4週	CH. 2 SIMPLE PAST TENSE etc. (cont.)
第5週	CH 3 FUTURE: GOING TO, WILL etc.
第6週	CH. 3 FUTURE: GOING TO, WILL etc. (cont.)
第7週	CH. 3 FUTURE: GOING TO, WILL etc. (cont.)
第8週	CH. 4 PRESENT PERFECT TENSE Mini-Test #1
第9週	CH. 4 PRESENT PERFECT TENSE (cont.)
第10週	CH. 4 PRESENT PERFECT TENSE (cont.)
第11週	CH. 4 PRESENT PERFECT TENSE (cont.)
第12週	CH. 5 PRESENT PERFECT VS. PRESENT TENSE etc.
第13週	CH. 5 PRESENT PERFECT VS. PRESENT TENSE etc. (cont.)
第14週	CH. 5 PRESENT PERFECT VS. PRESENT TENSE etc. (cont.)
第15週	Mini-Test #2

成績評価方法・基準

60% WEEKLY PERFORMANCE 40% TEST RESULTS

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

READING AND TRANSLATING ENGLISH TEXTS

テキスト

MOLINSKY/BLISS 『SIDE BY SIDE 3』 LONGMAN

参考書など

『ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY (any)』

プラクティカル・イングリッシュ (Intermediate)

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

必修

田中 明子

概要 ペアワークやビデオ教材の視聴を通して、基礎的な英語力の向上を図るとともに、一般的向けの読み物を通して、健康、栄養、食に関する英語表現に親しむ。授業ではテキストに沿って単語や文法、語法の確認をした後、学習した表現を用いた会話練習や読解練習、作文練習を行うほか、聴解練習も行う。

達成目標 基本的な語彙や文法を楽しみながら繰り返し練習することによって、英語の基礎力を養うことを目標とする。学習した表現を用いて自分から積極的に英語で話したり書いたりする習慣と、学習した表現を手掛かりに能動的に英文を聴いたり読んだりする姿勢を身につけることを目指す。

教授計画

第1週	Chapter 1 (1) Grammar: Simple Present Tense Topics & Vocabulary: Describing Habitual and Ongoing Activities
第2週	Chapter 1 (2) Grammar: Present Continuous Tense / Possessive Adjectives Topics & Vocabulary: Describing Frequency of Actions
第3週	Chapter 2 (1) Grammar: Simple Past Tense (Regular and Irregular Verbs) Topics & Vocabulary: Reporting Past Activities / Mishaps
第4週	Chapter 2 (2) Grammar: Past Continuous Tense Topics & Vocabulary: Difficult Experiences / Describing a Trip
第5週	Chapter 3 (1) Grammar: Future: Going to / Future: Will Topics & Vocabulary: Describing Future Plans and Intentions
第6週	Chapter 3 (2) Grammar: Future Continuous Tense / Possessive Pronouns Topics & Vocabulary: Expressing Time and Duration
第7週	Gazette Volume 3 Number 1 (1) Immigration Around the World
第8週	Gazette Volume 3 Number 1 (2) Immigrant Neighborhoods
第9週	Chapter 4 (1) Grammar: Present Perfect Tense (1) Topics & Vocabulary: Describing Actions That Have Occurred
第10週	Chapter 4 (2) Grammar: Present Perfect Tense (2) Topics & Vocabulary: Making Recommendations / Things to Do Where You Live
第11週	Chapter 5 (1) Grammar: Present Perfect vs. Present Tense / Since / For Topics & Vocabulary: Discussing Durations of Activity
第12週	Chapter 5 (2) Grammar: Present Perfect vs. Past Tense Topics & Vocabulary: Career Advancement / Telling About Family Members
第13週	Gazette Volume 3 Number 2 (1) "24/7" 24 Hours a Day / 7 Days a Week
第14週	Gazette Volume 3 Number 2 (2) Vacation Time in Different Countries
第15週	How to Say It! (Communication Strategies) Review Final Test

成績評価方法・基準

課題の得点4割と試験の得点6割を総合して評価する。課題には授業内に行う発表や小テストのほかに授業外の時間に取り組む練習問題も含まれる。試験はテキストからの出題8割と学習範囲に関連したエッセイからの出題2割で構成される。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

プレイスメント・テストの結果、Intermediate Class の所属となった学生のための授業。授業には毎回出席し、テキストと筆記用具のほか、英和辞典を持参すること。授業外の課題には、毎週、計画的に取り組むこと。

テキスト

Steven J. Molinsky & Bill Bliss 『Side by Side, 3rd edition, Student Book 3』 Longman 2003
9780131839366

参考書など

Steven J. Molinsky & Bill Bliss 『Side by Side, 3rd edition, Activity Workbook 3』 Longman 2001
9780130268754

プラクティカル・イングリッシュ (Advanced)

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

必修

ジェームズ・ランドラー

概要 DOING GRAMMAR-BASED CONVERSATION EXERCISES

達成目標 IMPROVE SPEAKING FLUENCY

教授計画

第1週	CH. 6 PRESENT PERFECT CONTINUOUS TENSE
第2週	CH. 6 PRESENT PERFECT CONTINUOUS TENSE (cont.)
第3週	CH. 7 GERUNDS, INFINITIVES etc.
第4週	CH. 7 GERUNDS, INFINITIVES etc. (cont.)
第5週	CH. 7 GERUNDS, INFINITIVES etc. (cont.)
第6週	CH. 8 PAST PERFECT TENSE etc.
第7週	CH. 8 PAST PERFECT TENSE etc. (cont.)
第8週	CH. 8 PAST PERFECT TENSE etc. (cont.) Mini-Test #1
第9週	CH. 9 TWO-WORD VERBS
第10週	CH. 9 TWO-WORD VERBS (cont.)
第11週	CH. 9 TWO-WORD VERBS (cont.)
第12週	CH.10 CONNECTORS
第13週	CH. 10 CONNECTORS (cont.)
第14週	CH. 10 CONNECTORS (cont.)
第15週	Mini-Test #2

成績評価方法・基準

60% CLASS PERFORMANCE, 40% TESTS

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

LOOK UP MEANINGS OF NEW VOCABULARY

テキスト

MOLINSKY/BLISS 『SIDE BY SIDE 3』 LONGMAN

参考書など

プラクティカル・イングリッシュ (Intermediate)

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

必修

田中 明子

概要 前期に引き続き、ペアワークやビデオ教材の視聴を通して、基礎的な英語力のさらなる向上を図るとともに、一般向けの読み物を通して、健康、栄養、食に関する英語表現に親しむ。授業ではテキストに沿って単語や文法、語法の確認をした後、学習した表現を用いた会話練習や読解練習、作文練習を行うほか、聴解練習も行う。

達成目標 基本的な語彙や文法を楽しみながら繰り返し練習することによって、英語の基礎力を養うことを目標とする。学習した表現を用いて自分から積極的に英語で話したり書いたりする習慣と、学習した表現を手掛かりに能動的に英文を聴いたり読んだりする姿勢を身につけることを目指す。

教授計画

第1週	Chapter 6 (1) Grammar: Present Perfect Continuous Tense (1) Topics & Vocabulary: Discussing Duration of Activity
第2週	Chapter 6 (2) Grammar: Present Perfect Continuous Tense (2) Topics & Vocabulary: Describing Experiences
第3週	Chapter 7 (1) Grammar: Gerunds / Infinitives Topics & Vocabulary: Discussing Recreation Preferences
第4週	Chapter 7 (2) Grammar: Present Perfect and Present Perfect Continuous Tenses Topics & Vocabulary: Telling About Important Decisions
第5週	Chapter 8 (1) Grammar: Past Perfect Tense Topics & Vocabulary: Discussing Things People Had Done
第6週	Chapter 8 (2) Grammar: Past Perfect Continuous Tense Topics & Vocabulary: Describing Accomplishments
第7週	Gazette Volume 3 Number 3 (1) The Jamaican Bobsled Team
第8週	Gazette Volume 3 Number 3 (2) Countries in the Olympics
第9週	Chapter 9 (1) Grammar: Two-Words Verbs (1) Separable Topics & Vocabulary: Discussing When Things Are Going to Happen
第10週	Chapter 9 (2) Grammar: Two-Words Verbs (2) Inseparable Topics & Vocabulary: Talking About Important People in Your Life
第11週	Chapter 10 (1) Grammar: Connectors (1) And ... Too / And ... Either Topics & Vocabulary: Asking for and Giving Reasons
第12週	Chapter 10 (2) Grammar: Connectors (2) So, But, Neither Topics & Vocabulary: Describing Peopole's Similarities and Differences
第13週	Gazette Volume 3 Number 4 (1) From Matchmakers to Dating Services
第14週	Gazette Volume 3 Number 4 (2) Wedding Customs and Traditions
第15週	How to Say It! (Communication Strategies) Review Final Test

成績評価方法・基準

課題の得点4割と試験の得点6割を総合して評価する。課題には授業内に行う発表や小テストのほかに授業外の時間に取り組む練習問題も含まれる。試験はテキストからの出題8割と学習範囲に関連したエッセイからの出題2割で構成される。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

プレイスメント・テストの結果、Intermediate Class の所属となった学生のための授業。授業には毎回出席し、テキストと筆記用具のほか、英和辞典を持参すること。授業外の課題には、毎週、計画的に取り組むこと。

テキスト

Steven J. Molinsky & Bill Bliss 『Side by Side, 3rd edition Student Book 3』 Longman 2003
9780131839366

参考書など

Steven J. Molinsky & Bill Bliss 『Side by Side, 3rd edition, Activity Workbook 3』 Longman 2001
9780130268754

プラクティカル・イングリッシュ

基礎教育 健康栄養学科

2年 前期

2単位 講義

選択

ジェームズ・ランドナー

概要 READING TEXTS IN ENGLISH, DOING VOCABULARY EXERCISES

達成目標 IMPROVE READING ABILITY, SPEAKING FLUENCY

教授計画

第1週	CH. 1 COUNTING CALORIES
第2週	CH. 2 A NEW SPORTS TRADITION
第3週	CH. 3 AS AMERICAN AS APPLE PIE
第4週	CH. 4 USE AS DIRECTED
第5週	CH. 5 THE END OF HOME COOKING?
第6週	CH. 6 JUST FOLLOW THE RECIPE
第7週	CH. 7 SUPPLEMENTAL HEALTH CH. 8 TIME FOR TEA
第8週	CH.9 FRESH FROM THE GARDEN
第9週	CH. 10 LOCAL DELICACIES
第10週	CH. 11 TRICK OR TREAT!
第11週	CH. 12 GIVING THANKS
第12週	CH. 13 TURKEY AND ALL THE TRIMMINGS
第13週	CH. 14 VALENTINE'S DAY
第14週	CH. 15 THE MEANING OF EASTER
第15週	FINAL TEST

成績評価方法・基準

60% WEEKLY CLASS PERFORMANCE 40% TEST RESULTS

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

READING AND TRANSLATING ENGLISH TEXTS

テキスト

SUNAGA 『FOOD FOR THOUGHT』 NANUNDO

参考書など

『ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY (any)』

概要 READING TEXTS IN ENGLISH

達成目標 IMPROVE READING ABILITY, SPEAKING FLUENCY

教授計画

第1週	CH. 1 SINGAPORE'S LOVE PORTION HEADS TO MARKETS OVERSEAS
第2週	CH. 2 WHO: BIRD FLU MAY HAVE PASSED BETWEEN SIBILINGS
第3週	CH. 3 FOREIGN STAFF SET OK FOR EMERGENCY TRAINING
第4週	CH. 4 TWO LANGUAGES HELP TO KEEP THE MIND YOUNG
第5週	CH. 5 EXPERTS WILL FEED INFECTED BRAINS TO COWS
第6週	CH. 6 NEW ALCOHOL-FLAVORED BISCUITS NOT TO EVERYONE'S TASTE
第7週	CH. 7 TEA DRINKING MAY PROTECT AGAINST ALZHEIMER'S DISEASE
第8週	CH. 8 MELATONIN MAY HELP LOWER BLOOD PRESSURE
第9週	CH. 9 FAT KIDS SINGLED OUT FOR EXTRA EXERCISE
第10週	CH. 10 AIR WORSE IN SMOKY BARS
第11週	CH. 11 RESEARCHERS; CHURCH CANDLES AND INCENSE POSE HEALTH RISKS
第12週	CH. 12 FITNESS: HOW MUCH WATER IS ENOUGH DURING EXERCISE?
第13週	CH. 13 WOMAN LISTED AS WORLD'S OLDEST PERSON / CH. 14 FITNESS: LOSING THE BABY FAT
第14週	CH. 15 CHINESE MAY HAVE BEEN FERMENTING DRINKS 9,000 YEARS AGO
第15週	FINAL TEST

成績評価方法・基準

60% CLASS PERFORMANCE 40% TEST RESULTS

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

READING AND TRANSLATING ENGLISH TEXTS

テキスト

OGASAWARA 『READING FROM NUTRITION AND HEALTH』 KINSEIDO

参考書など

『ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY (any)』

フランス語

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

クリストフ ボケール

概要 フランス語とは、どういう言語であるか、フランスの文化、芸術などを通じて、興味を持たせ慣れ親しむことを目的とする授業

達成目標 授業では、グループ学習を中心にいろいろな場面設定をしながら、フランス語に慣れ親しむことを目標とする。

教授計画

第1週	フランス語について(フランス語全体についての簡単な説明)・挨拶。 "ボンジュール"
第2週	自己紹介(発音、表現について)。 "ジュ・マペー"
第3週	人に会う時に・個人情報を求める/与える・～ですの動詞。 "ジュ・スイ・ジャボネ"
第4週	会話(名詞、冠詞について。数字1~10)/ カフェで注文するとき。男性/女性名詞・単数/複数。 "スイル・ヴ・プレ"
第5週	疑問文(何ですか?/何を?) 現在形・活動を記述する。 "ケズ・ク・セ"
第6週	空港に着く時: 疑問文(どこ?)/否定形。 "ス・ネ・パ"
第7週	空港からホテルまで: 疑問文(どうやって?)/もつ・あるの動詞/定冠詞。 "イ・リ・ヤ"
第8週	フランス(国・地方)/行く・知る/知らない。 "テュ・コネ・・・?"
第9週	地方の町を訪問: 他の疑問/カジュアルとフォーマルなスピーチ "セ・コワ?"
第10週	自分の好みと理由を伝える(どして?なぜなら) "ジェム/ジェム・パ"
第11週	理由を聞くと伝える(どして?なぜなら) "プールのコワ?"
第12週	買い物での会話: ~したい/~ほしい "ジュ・ヴッドレ"
第13週	食文化について(市場&家庭料理)
第14週	フランスのメディアについて
第15週	復習

成績評価方法・基準

成績の評価は、教室での学習状態と学期末に行う定期試験の結果を総合して行う。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

特に予習は必要ありませんが、毎回の授業の復習が望ましいです。また電子辞書、仏和辞典持参のこと。(収録語数35000語以上のものであれば、どこの出版社のものでも可)

テキスト

『なし。オリジナルプリントを配布。』

参考書など

フランス語

基礎教育 健康栄養学科

1年 後期

2単位 講義

選択

クリストフ ボカール

概要 フランス語とは、どういう言語であるか、フランスの文化、芸術などを通じて、興味を持たせ慣れ親しむことを目的とする授業

達成目標 授業では、グループ学習を中心にいろいろな場面設定をしながら、フランス語に慣れ親しむことを目標とする。

教授計画

第1週	復習（挨拶・自己紹介・男性／女性）
第2週	復習（職業・現在形）
第3週	遊び&勉強について（動詞 持つ・ある・いる）
第4週	どこへ行く？目的地について話す（近未来形）
第5週	曜日と日程表について話す
第6週	毎日のスケジュール（日々の活動）
第7週	旅行について話す（疑問形の復習）
第8週	自分のやってみたいことについて話す・お願いすること
第9週	美術館へ行く・フランス印象派の画家について
第10週	フランスのマンガ文化について（不規則動詞）
第11週	日本とフランスの違いについて（比較級）
第12週	時間・フランスの鉄道旅行
第13週	フランス地方の個別主義について（文化、料理、言葉）
第14週	フランスの社会について
第15週	学んだことの総復習

成績評価方法・基準

成績の評価は、教室での学習状態と学期末に行う定期試験の結果を総合して行う。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

特に予習は必要ありませんが、毎回の授業の復習が望ましいです。また電子辞書、仏和辞典持参のこと。（収録語数35000語以上のものであれば、どこの出版社のものでも可）

テキスト

『なし。オリジナルプリントを配布。』

参考書など

中国語

基礎教育 健康栄養学科

1年 前期

2単位 講義

選択

鄭 躍慶

概要 中国語の入門として、その発音を重点的に指導する。自分や家族のことなどを中国語で紹介できるよう、中国語コミュニケーションの基礎的能力を演習式で養成する。将来、中国への留学や旅行に際し、あるいは職場で必要最小限の会話ができるようになる。

達成目標 中国語の発音、中国語に関する基礎知識を身につけることができるだけでなく、簡単な挨拶と簡単な中国語の会話や簡単な中国語の文章もできるようになる。
メディア教材なので、ゲーム感覚で中国語を楽しく学習することができる。

教授計画

第1週	発音(1) 声調 単母音 複母音
第2週	発音(2) 子音
第3週	発音(3) 鼻音を伴う母音 軽声
第4週	発音(4) 声調変化 数字 名前の尋ね方
第5週	人称代名詞 動詞述語文など
第6週	指示詞 名詞の修飾語(1)など
第7週	反復疑問文など
第8週	疑問詞(1) 所有の「有」など
第9週	形容詞述語文 名詞の修飾語(2)
第10週	連動文 量詞の使い方など
第11週	疑問詞(2) 疑問詞(3)
第12週	場所指示詞 方位詞など
第13週	存在の「有」と「在」
第14週	前置詞(1) 前置詞(2)
第15週	復習

成績評価方法・基準

授業への参加状況、授業の態度、期末試験の結果に基づいて総合的に評価する。

事前準備の内容・授業方法・受講上の注意

授業への参加状況を非常に重視する。また、授業を受ける態度（会話の練習、作文の練習、質問の態度など）も期末テスト点数評価の参考になる。積極的に先生と一体となって実のある楽しい授業を期待したい。

テキスト

『中国語の並木道』編集部 編 『中国語の並木道（初級テキスト）』白帝社

参考書など

『授業の中で紹介します。』

